

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期岩出市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県岩出市

3 地域再生計画の区域

和歌山県岩出市の全域

4 地域再生計画の目標

岩出市は、2006年（平成18年）に単独で市制施行し、2026年（令和8年）に市制施行20年を迎えました。本市は、和歌山市・大阪都市圏の郊外都市となる立地環境の中、町時代から人口が増加し、特に1990年（平成2年）からの10年間で15,310人増加し、2005年（平成17年）の国勢調査人口は50,834人となりました。2005年（平成17年）以降も緩やかな人口増加が続き、住民基本台帳によると2023年（令和5年）1月1日時点で54,215人となりましたが、少子高齢化の進展により、2024年（令和6年）に人口減少に転じ、住民基本台帳によると2024年（令和6年）1月1日時点で54,059人となっています。

国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は2030年（令和12年）には53,471人、2045年（令和27年）には50,143人に減少すると推計されています。

人口構造の割合については、2015年（平成27年）では0～14歳が8,402人（16%）、15～39歳が15,660人（29%）、40～64歳が19,154人（36%）、65歳以上が10,461人（19%）に対し、2024年（令和6年）では、0～14歳が7,032人（13%）、15～39歳が14,168人（26%）、40～64歳が19,520人（36%）、65歳以上が13,339人（25%）となり、40歳未満の人口割合が45%から39%と減少しています。

本市の社会動態をみると、年による増減はあるものの、長期的に見ると転入が転出を上回る状況が続いており、2023年（令和5年）には73人の社会増となっています。

本市の自然動態をみると、少子高齢化の進展により、2018年（平成30年）から死亡が出生を上回る状況となっておりましたが、2022年（令和4年）から死亡が大きく増加、2023年（令和5年）から出生が大きく減少し、2023年（令和5年）には227人の自然減となっています。また、合計特殊出生率をみても、2018年～2022年（平成30年～令和4年）は1.46と全国・和歌山県平均値を上回っていますが、人口置換水準である2.07を下回る状況となっています。

少子高齢化、人口減少の進行は、働き手の減少、地域コミュニティの低下、税収入の減少など、今後の行政運営に大きな影響を及ぼすことが予想されます。

人口減少への抑制を図るため、これまで積み重ねてきたまちづくりをさらに発展させ、人口減少時代に対応した魅力ある岩出市づくりを基本に「活力あふれるまちふれあいのまち」の実現を目指し、次の基本戦略を掲げ、その達成を図ります。

- ・基本戦略1 人が集う、魅力あるまち
- ・基本戦略2 子育てしやすいまち
- ・基本戦略3 安全・安心で住環境の良いまち
- ・基本戦略4 産業振興による活力あるまち

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	転入者数（5年間平均）	1,873人	1,880人	基本目標1
イ	出生数（5年間）	0人	1,900人	基本目標2
ウ	転出者数（5年間平均）	1,750人	1,740人	基本目標3
エ	商工会会員数	664事業所	735事業所	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期岩出市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 人が集う、魅力あるまちづくり事業

イ 子育てしやすいまちづくり事業

ウ 安全・安心で住環境の良いまちづくり事業

エ 産業振興による活力あるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 人が集う、魅力あるまちづくり事業

安全性と利便性を高めるための主要幹線市道・生活道路の整備・充実、道路・橋梁の長寿命化、上水道の安定供給、計画的な下水道整備の推進、公共交通の利便性向上など、また、国内外から観光客を呼び込むための観光情報の発信、観光周遊の活性化、交流人口、関係人口及び移住者の増加など、人が集う魅力あるまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

・道路整備事業

・交通空白山間地域の交通支援事業 等

イ 子育てしやすいまちづくり事業

安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりのための出産・子育て支援の充実、子育て家庭への経済的支援など、また、児童・生徒の安心で快適な学校生活を確保するための教育環境の整備、学力の向上、心身の健全育成など、子育てしやすいまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

・英語教育充実事業

・妊娠・出産支援事業 等

ウ 安全・安心で住環境の良いまちづくり事業

市民の安全・安心を高めるための都市防災基盤の整備や浸水被害防止対策など、また、全ての市民が生涯にわたり健康でいきいきと暮らせるための健康意識の向上、保健対策の推進など、安全・安心で住環境の良

いまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 防災行政無線戸別受信機整備事業
- ・ 犯罪被害者等支援事業
- ・ 歩道設置事業
- ・ 小児・AYA世代がん患者等妊孕性温存治療等助成事業 等

エ 産業振興による活力あるまちづくり事業

市内商工業者の安定経営のための商工業・サービス業の活性化、雇用の確保など、また、特産品の育成を図り、農産物の高付加価値化を図るための農林業経営基盤の充実、農業の担い手の育成・確保など、産業振興による活力あるまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 駅前活性化事業 等

※なお、詳細は第3次岩出市長期総合計画（後期基本計画）のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

125,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10～11月頃に外部有識者による効果検証を行い、検証後速やかに本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで